

10/10~12

県内市町村が激戦のグルメイベント そばンナコッタがアンテナショップ賞を受賞



県内の各市町村を代表する、新たなご当地グルメが総結集した「シン・いばらきメシ総選挙 2026」が県三の丸庁舎で開催されました。筑西市からは常陸秋そばを使った「豚バラ軟骨カレー南蛮そば」と「そばンナコッタ」が参戦。3日間、たくさんのお客さんに常陸秋そばの魅力を伝えました。最終日の表彰式では、そばンナコッタのなめらかな口当たりとそばの豊かな風味が評価され、見事アンテナショップ賞を受賞しました。



9/8 ルビー色に輝く大粒のぶどう 認定こども園せきじょうの園児たちを魅了

認定こども園せきじょうの園児たちが、倉持地区の中山果樹園（中山隆詞オーナー）でぶどう狩りを体験しました。頭上を一面に覆うぶどう畑に大興奮。大きく実った摘みたてのぶどうを自分で丁寧に皮を剥き、ぶどうを口に運ぶと、そのおいしさに子どもたちに笑顔が溢れました。「甘くておいしい」と園児たちは次々とぶどうを頬張り、秋の味覚を堪能しました。



9/12 全身泥んこで熱いラリー 泥んこバレーボール大会開催



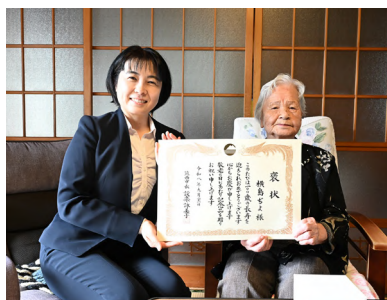
ちくプロ実行委員会（山口浩司会長）が中上野地区にある田んぼで「泥んこバレーボール大会」を開催しました。8回目の開催となった今大会には、市内外から9チームが参加。参加者は、白い服を泥で汚しながらボールを追いかけて、接戦の熱いラリーを繰り広げていました。

9/13 わたしのぼくのお米づくり 新米のおいしさを味わう



下館小学校おやじの会（嶋田陽介会長）主催の「わたしのぼくのお米づくり 2026」で6月に田植えをしたお米が収穫の時期を迎え、子どもたちが稲刈りを行いました。参加者は「自分たちで植えたお米なので、一層おいしく感じる」とおにぎりを頬張り、新米のおいしさを味わいました。

9/24 100歳の長寿をお祝い 敬老の日に合わせて市長が訪問



令和8年度

100歳を迎える人

56人

101歳以上の人

73人

敬老の日に合わせて、在宅で元気に過ごされ100歳を迎える高齢者を設楽市長が訪問し、褒状を贈りました。訪問を受けた横島ぢよさん（関本肥土）は「お祝いされて夢のような気持ちです」と喜びの気持ちを話し「毎日、新聞を読んだり、散歩を日課にしています」と健康の秘訣を教えてくださいました。

10/1 道の日・道路美化清掃 約350袋のごみを回収



茨城県建設業協会筑西支部（白田唯雄支部長）と筑西土木事務所（太田力所長）、筑西市・結城市・桜川市の3市の合同により、「道の日」道路美化清掃活動を実施しました。当日は約160人が参加し、約350袋分のごみを回収し環境美化に貢献しました。

9/26・27 病と共に生きる人たちの展覧会 一表現し、つながり、継続する一



パーキンソン病と共に生きる人たちが、日々の工夫や創作活動で制作した作品を持ち寄った「小さな展覧会」をギャラリーおっこの室で開催しました。

当日会場を訪れた人は、演奏や作品鑑賞などを通じて作家との交流を楽しんだほか、カルタでパーキンソン病への理解を深めました。

10/11 しもだて商工まつり 市内の商工事業のお店が集結



下館商工会議所青年部（國府田和弘実行委員長）主管で「しもだて商工まつり Hack the 筑西」が開催されました。今年はスペシャルゲストにお笑い芸人のカミナリやロケット団を迎えたほか、職業体験や飲食店、企業紹介などのブースが来場者を楽しませました。

補助金
活用報告

協働のまちづくり支援
事業補助金の活用



お囃子焰會（木城優太代表）がお囃子伝統文化の継承のため、市の補助金を活用し大太鼓を整備しました。会員の技術力向上に励み、下館祇園まつりでは迫力ある演奏で会場を大いに盛り上げました。

10/12 スポーツの秋 ちくせいスポーツフェスで汗流す



8種類のスポーツ体験や体力測定ができるイベントがザ・ヒロサワ・シティ体育館で開催され、子どもから大人まで幅広い世代でにぎわいました。訪れた人は「初めて体験したスポーツもあって楽しかった」「シャトルランは本当に久しぶり」と元気にスポーツの秋を楽しんでいました。



10/9 健康増進を目的に 包括協定を締結



市と住友生命保険相互会社（鏡佳明小山支社長）は、市民の健康増進及び地域の一層の活性化に加え、市民サービスの向上を図ることを目的に、包括連携協定を締結しました。

10/9 地元を元気にしたい 福祉関連事業へ役立てて



明治安田生命保険相互会社つくば支社（幸森真人支社長）から、地域に縁のある従業員のみなさんと同社からの寄付金で集まった「私の地元応援募金」922,500円を寄付いただきました。

9/4 下館二高文芸部 万葉短歌バトルで初優勝



短歌を詠むだけでなく、表現力や批評力を競い合う「第11回高校生万葉短歌バトル in 高岡」で、初出場ながら優勝した下館第二高等学校の文芸部チーム「みかげ」が、市役所を訪れその喜びを市長に報告しました。

スポーツ

Sports News

2026 全日本型競技空手道 選手権大会

I.K.O. セミコンタクトルール
2026 全国交流大会

8月29日 京都府立体育会館



【セミコンタクト 8歳女子】優勝
柴田 陽葵（養蚕小3年）

第44回全日本高等学校 パワーリフティング選手権大会

8月2日

サイデン化学アリーナ（さいたま市）



【男子 66kg級】優勝
杉山 望夢（下館工業高3年）

とびうお杯 第41回全国少年少女 水泳競技大会

8月1日・2日 浜松市総合水泳場



【女子 50m 自由形】3位
國府田 絢香（河間小6年）

Vol.17

えみコラA

Think globally, Act locally ～地球規模で考え、地元から行動する～

市長コラム



「こどもの権利条例」の制定に向けて小学生と交流

筑西市では、未来を担う子どもたちが、誰一人取り残されことなく、自分の将来に夢と希望を持って健やかに成長できるよう「こどもの権利条例」の制定準備を進めています。

そこで、今年度から私が市内の学校を訪れ、「こどもの権利とキャリア教育」の授業を行っています。「幸せな時は、どんなとき?」「モヤモヤすることある?」「市長だったら、どんなことしたい?」など、子どもたちと対話しながら、市長の仕事を紹介しています。

授業の中で「私の夢は優しい看護師です」と発

表がありました。医学に携わってきた私はとても嬉しかったです。将来はぜひ筑西市の医療を支えてほしいと思いました。

また、授業では子どもたち一人ひとりが大切な存在で、一人の人として意見を表明できる存在であることや、行政や地域がみなさんを支えていくことを伝えています。

すべての子どもたちが夢をかなえられる筑西市を目指していきます。



学校での授業の様子